



11/3 無病息災を願って 尾道ベッチャー祭り

尾道市民俗文化財にも指定されている尾道ベッチャー祭りが行われ、ベタ、ソバ、ショーキーの3鬼神が市内を練り歩きました。鬼神の持つ「ささら」や「祝棒」で叩かれると1年間病気をしないとされています。大人は鬼に子どもを差し出しますが、子どもは鬼が怖く、泣き出したりする姿が見られました。



11/3 尾道の秋を満喫 尾道小径散策秋の茶会2016

澄みわたる秋空の下、市内の4流派により、浄土寺、慈観寺、浄泉寺の3会場でお茶会が開かれました。友達同士や家族連れなど多くの方が訪れ、歴史ある尾道の寺や秋の風景を楽しみながら優雅なひとときを堪能しました。



11/6 花と潮風かおる 尾道むかいしまウオーク

向島の景観や自然、歴史・文化を体感しながら歩くウォーキングイベントが開催され、7歳から83歳まで総勢213人が参加しました。岩子島の手掘りトンネルや赤い鳥居が象徴的な巖島神社を巡るコースや、古代ロマンを感じる岩屋山の巨大な巨石群を巡るコースなど3コースに分かれ、秋の向島を満喫しました。



11/12 尾道らしいピンチョス・ドリンク のおひろめ

長江口ゆとりの広場と新開地区で、尾道オリジナルピンチョス・ドリンクコンテストの表彰式と試食会が行われました。でべらやいちじくなどを使ったピンチョスがふるまわれ、参加した人は尾道の新しい美食を楽しんでいました。
ピンチョス:スペイン発祥で複数の食材を串刺しにした一口サイズの料理



11/12 甘い柿になりますように 御調町菅野公民館で干し柿づくり

「いつもニコニコ仲睦まじく…」正月の縁起物として飾られる串柿。御調町菅野地区は地形を活かし、江戸時代から串柿づくりが盛んでした。

この日は、若い人たちにも地域ならではの文化を知ってもらおうと、老人クラブの皆さんの指導のもと、親子や家族約35人が干し柿・串柿づくりの体験をしました。



11/13 「幸せ」は心とからだの健康から

総合福祉センターで、「おのみち市民健康まつり」が開催されました。血圧・骨密度などの測定コーナーや、体験コーナー、バザーなどのほか、プロ野球解説者の山内泰幸さんによる講演も行われ、多くの人でにぎわいました。



11/13・20 音楽・芸能の発表会

13日に市民センターむかいしまで、20日にはしまなみ交流館で、「尾道市民音楽芸能祭」が開催されました。両日程で45団体が出演し、バレエ、舞踊、邦楽、コーラスなどを披露しました。

出演者の一人ひとりが日々の練習の成果を発揮し、観客を魅了していました。



11/24・12/1 外国人のおもてなし目指して スキルアップ

尾道を訪れる1人でも多くの外国人に声をかけてみたい、という気持ちを持った英語初心者を対象に、国際理解講座「おもてなし英会話」が土堂二丁目のONOMICHI SHAREで行われました。簡単な単語やフレーズを教室みんなで発声したりしながら、英語でのコミュニケーション方法を学びました。